

# 海事生産性革命(i-Shipping)答申フォローアップについて

平成28年6月、交通政策審議会が「海事産業の生産性革命(i-Shipping)による造船の輸出拡大と地方創生のために推進すべき施策について」を答申

## 答申後の現状

- 当該答申に基づき、①設計・開発(H28予算～)、②建造(H28補正～)、③運航(H28予算～)の各フェーズにおいて、予算措置を講ずるなど、取組みを推進
- 答申から既に1年以上経過し、答申時から、造船マーケット、各国の動向に変化が生じている
- 答申では「自動運航船」は一切言及されておらず、課題の整理や取り組むべき施策も取りまとめ等もされていない
- 次期海洋基本計画が来年3-4月に策定される予定

答申の内容をレビューし、新たに取り組むべき短期的課題、施策等について検討・提言を行う必要が生じている

## フォローアップの進め方概要(案)

### 検討テーマ

#### 1. i-Shipping

- ◆ 各フェーズにおける主要施策;革新的生産技術開発に加えた今後の具体的な施策
- ◆ 人材;日本人の確保・育成策、外国人造船就労者受入制度の今後のあり方
- ◆ 国際対応;对中国・韓国への公的支援への対応について(WTO,OECD等)
- ◆ 造船業の受注力強化;我が国造船業の受注力強化(ロット発注対応、公的ファイナンス等)

#### 2. j-Ocean

- ◆ 浮体技術等を活用した新たな市場分野の開拓
- ◆ 産学官が連携した海洋開発人材育成システムの構築
- ◆ 製品パッケージ化の推進、ナショナルプロジェクトの活用

#### 3. 自動運航船

- ◆ ロードマップの作成
- ◆ IMOにおける議論への対応
- ◆ 世界に先駆けた自動運航船実現に必要な環境整備の推進

### スケジュール

- 平成29年12月22日 海事イノベーション部会(検討開始)
  - ◆ 造船市場の現状と答申の実施状況(i-Shipping)
  - ◆ 自動運航船に関する取組
  - ◆ 海洋開発市場の現状と答申の実施状況(j-Ocean)
  - ◆ 課題の整理
  - ◆ 今後の進め方
- 平成30年1月 海事分科会
  - ◆ 海事イノベーション部会の立ち上げ報告
- 平成30年2月下旬 海事イノベーション部会
  - ◆ 検討結果の報告、見直し・新施策の方向性議論
  - ◆ スケルトン提示
- 平成30年3月下旬 海事イノベーション部会
  - ◆ 中間とりまとめ
- 平成30年5月下旬 海事イノベーション部会(結論)
  - ◆ 報告書の取りまとめ